

1. はじめに

少子高齢社会の一層の進展で、日本は大きな転換点を迎えています。新しく長寿医療制度（後期高齢者医療制度）が始まり、特定健診、保健指導も制度化されます。前者には当教室が長らく取り組んできた24時間訪問看護・介護が必要となり、後者に対しては保健師に期待がかかっています。

平成18年4月から、東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻修士課程に開設された保健師コース、看護師コースの1期生が修了し、この春巣立っていきました。保健師コースの修了生は、地元の市に保健師として就職し、看護師コース（退院支援）の学生は東大病院に復職しました。研究の成果を実践に活かすことが期待されています。

両コース共、実習や研究そのものが受け入れて下さった地域や臨床に歓迎されました。より一層実践や社会に貢献できる研究を目指していきたいと思えます。

当教室の活動成果は、毎年年報としてまとめてきております。本年も、平成19年度の活動をまとめることができました。ご高覧いただき、ご助言、ご指導賜りますよう、お願い申し上げます。

地域で生活する様々な人々の健康の向上に関連する理論や技術を学問的な側面から明確化していくこと、さらには、地域看護学の研究成果を国際的にも広く提示し、学術面での交流を推進していくことが私共に課せられた役割だと考えます。

教室員一同、研究と教育に、更に努力していきたいと思っています。
今後とも、ご指導・ご鞭撻の程、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

平成20年4月

東京大学大学院医学系研究科
健康科学・看護学専攻地域看護学分野

教授 村嶋幸代

2 . 研究業績

(1) 原著・報告

Murayama H , Taguchi A , Murashima S

Differences in Psychosocial Factors among Novice , Experienced , and Veteran Health Promotion Volunteers in Japan

Public Health Nursing (in press)

Arimoto A , Murashima S

Child-rearing Anxiety and Its Correlates among Japanese Mothers Screened at 18-month Infant Health Checkups

Public Health Nursing , 24(2), 101-110, 2007

Saeki K, Izumi H, Uza M, Murashima S

Factors Associated With the Professional Competencies of Public Health Nurses Employed by Local Government Agencies in Japan

Public Health Nursing, 24(5), 449-457, 2007

村山洋史 , 田口敦子 , 村嶋幸代 , 柳修平

健康推進員組織と行政との関係性への認識からみた健康推進員の活動と意識

日本地域看護学会誌 , 10(1) , 113-121 , 2007

山本文子 , 村山洋史 , 田口敦子 , 小林小百合 , 村嶋幸代

行政保健師と民間保健師の活動の特徴と意義

- 行政機関退職後、NPO で活動する保健師へのインタビュー調査を通して -

日本地域看護学会誌 , 10(2) , 79-84 , 2008

吉岡京子 , 村嶋幸代

日本の市町村保健師による事業化プロセスの経験とその関連要因

日本公衆衛生雑誌, 54(4), 217-225, 2007

村山洋史 , 田口敦子 , 村嶋幸代 , 柳修平

健康推進員の活動意識 - 経験年数別での比較 -

日本公衆衛生雑誌 , 54(9) , 633-643 , 2007

長弘佳恵 , 小林小百合 , 村嶋幸代

不安定就労・生活者にとっての Directly Observed Treatment, Short-course (DOTS)受療の意味

日本公衆衛生雑誌 , 54(12) , 857-866 , 2007

永田智子，村嶋幸代

高齢患者が退院前・退院後に有する不安・困り事とその関連要因
病院管理，44(4)，323-335，2007

葛西好美，樋口キエ子，臺有桂

在宅看護論における効果的な教授方法の検討 学内演習に焦点をあてて
日本看護学会論文集，看護総合 38，490-492，2007

(2) 総説

安齋ひとみ，酒井昌子，加藤典子，有本梓，尾崎章子，麻原きよみ，大森純子，鈴木良美

CBPR とは何か？ CBPR の成果(アウトカム)と課題
地域保健，38(4)，76-82，2007

(3) 解説

村嶋幸代

修士課程のトレーニングで、保健師としての能力はどのように伸びるか
保健の科学，49(4)，259-264，2007

村嶋幸代

新しい保健師教育の留意点
保健の科学，49(9)，601-608，2007

村嶋幸代

第 81 回日本結核病学会総会公開シンポジウム Let's DOTS “治したい”看護の思いを DOTS に込めて (追加発言 1)
結核，82(1)，46-47，2007

渡井いずみ，京谷美奈子

米国の産業看護活動と日本の産業保健・看護の過去・現在・未来 (3) 産業・環境看護の実践的基礎
労働の科学，63(3)，56-59，2008

大久保和子，原口孝子，鈴木樹美，戸村ひかり，永田智子，村嶋幸代

統合失調症を持つ重度重症筋無力症患者への退院支援
ナーシングトゥデイ，22(10)，44-47，2007

島村珠枝

ロサンゼルスでの結核看護 人と人の出会いが結核を治す
保健師・看護師の結核展望, 45(2), 72-85, 2007

(4) 報告書

村嶋幸代, 田上豊, 岡本玲子, 田口敦子, 近藤由生子, 永田智子

厚生労働科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業「24時間訪問介護・看護の効果的・効率的な実施方法の開発研究 夜間・早朝訪問看護必要者の発見と提供方法の標準化」
平成18年度総括研究報告書, 2007

村嶋幸代, 田上豊, 岡本玲子, 田口敦子, 近藤由生子, 永田智子

厚生労働科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業「24時間訪問介護・看護の効果的・効率的な実施方法の開発研究 夜間・早朝訪問看護必要者の発見と提供方法の標準化」
平成16-18年度総合研究報告書, 2007

村嶋幸代, 田上豊, 岡本玲子, 田口敦子, 近藤由生子, 永田智子

厚生労働科学研究 研究費補助金 長寿科学総合研究推進事業(国際共同研究事業)
訪問看護の必要性を判定するアセスメントシートの共同開発
平成18年度研究報告書, 2007

村嶋幸代, 中川俊男, 小川忍, 上野桂子, 野川とも江, 田代祐基, 山本春江, 上原ます子, 波多野浩道, 中川泉, 春山早苗, 川崎道子, 井上弘子, 雨宮きよ子, 北村久美子, 近藤由生子, 永田智子, 田口敦子, 田上豊

平成18年度厚生労働省老人保健健康増進等事業 訪問看護ステーションに係わる介護保険サービスにおける看護提供体制のあり方に関する研究: 訪問看護サービスの需要と供給に関する研究報告書
全国訪問看護事業協会, 2007

松下正明, 天本宏, 上野桂子, 宇都宮宏子, 織田正道, 神津仁, 迫田朋子, 佐藤美穂子, 鷺見よしみ, 取手涼子, 古橋美智子, 武藤正樹, 村上紀美子, 村嶋幸代, 秋山正子, 大谷明子, 角田直枝, 長江弘子, 永田智子, 丸山恵理, 戸村ひかり, 鈴木樹美

平成18年度老人保健健康増進等事業による研究報告書
退院準備から在宅ケアを結ぶ支援(リエゾンシステム)のあり方に関する研究報告書
医療経済研究機構, 2007

村嶋幸代, 鷺見尚己, 河正子, 永田智子, 田口敦子, 宮下光令, 清水房枝, 鈴木樹美, 辻由紀, 戸村ひかり, 安井明子

病院看護の予防機能発揮による効果的・効率的医療の提供に関する研究「C. 退院支援」(研究代表者: 数間恵子)
平成16年度~平成18年度科学研究費補助金基盤(A)研究成果報告書, 2007

永田智子，鷺見尚己

利用者の視点に基づく医療連携・退院支援のアウトカム指標の開発 ケアの場の移行に伴って発生する患者・家族の療養生活上のニーズに焦点をあてて

平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金医療安全・医療技術評価総合研究事業報告書，2007

渡井いずみ，錦戸典子，村嶋幸代

両親の就業が養育態度に及ぼす影響について - 低学年児童に焦点をあてて -

2006 年度 財団法人 明治安田こころの健康財団 研究助成論文集，42，190-199，2007

錦戸典子，村嶋幸代，麻原きよみ，安齋由貴子，都筑千景，永田智子，田口敦子，福田英子，松坂由香里，本木千春，蔭山正子，前田（吉岡）京子，有本梓，渡井いずみ，蔦木美穂，三橋祐子，山口拓洋

保健師活動におけるグループ支援およびコミュニティ支援プロセスの標準化

平成 15 年度～平成 18 年度科学研究費補助金 基盤研究（B）研究成果報告書，2007

（5）学会発表

渡井いずみ，錦戸典子，村嶋幸代

未就学児を持つ IT エンジニアにおける疲労とワーク・ファミリー・コンフリクトの男女別検討

第 80 回日本産業衛生学会，大阪，大阪国際会議場，2007 年 4 月 25 日～27 日

村山洋史，田口敦子，村嶋幸代，柳修平

健康推進員組織と行政との関係性からみた健康推進員の活動への意識

第 10 回日本地域看護学会学術集会，神奈川県 神奈川県立保健福祉大学，2007 年 7 月 28 日～29 日

有本梓，村嶋幸代

行政保健師が専門職・地域住民と協力して行う個別支援 - 児童虐待予防事例に焦点をあてて -

第 10 回日本地域看護学会学術集会，神奈川県 神奈川県立保健福祉大学，2007 年 7 月 28 日-29 日

戸村ひかり，鈴木樹美，永田智子，村嶋幸代

統合失調症をもつ重度重症筋無力症患者への病棟看護師による退院に向けた支援過程

第 10 回日本地域看護学会学術集会，神奈川県 神奈川県立保健福祉大学，2007 年 7 月 28 日～29 日

渡邊麻衣子，佐々木明子，森田久美子，盛合久美子

地域看護学実習における小集団活動の参加からみた学生の学び

第 10 回日本地域看護学会学術集会，神奈川県 神奈川県立保健福祉大学，2007 年 7 月 28 日～29 日

田口敦子，松永篤志，九里美和子，布施千加子，石原仁，南千佳子，千代妙子，堀井とよみ，村嶋幸代

近隣ステーションが連携した計画的な夜間・早朝の訪問看護の提供効果に関する研究

第 10 回日本地域看護学会学術集会，神奈川県 神奈川県立保健福祉大学，2007 年 7 月 28 日～29 日

有本梓，村嶋幸代

行政保健師による地域住民・専門職との協力 児童虐待予防を目指した個別支援から

第 66 回日本公衆衛生学会総会，愛媛県 県民文化会館，2007 年 10 月 24 日～26 日

村山洋史，奈良部晴美，兒島智子，戸丸明子，村嶋幸代

地域包括支援センターとインフォーマル組織とのネットワーク構築に関する実態

第 66 回日本公衆衛生学会総会，愛媛県 愛媛県県民文化会館，2007 年 10 月 24 日～26 日

松永篤志，田口敦子，永田智子，有本梓，臺有桂，村嶋幸代

計画的な夜間・早朝訪問看護の必要者の特徴

第 66 回日本公衆衛生学会総会，愛媛県 愛媛県県民文化会館，2007 年 10 月 24 日～26 日

渡邊麻衣子，有本梓，村嶋幸代

心臓血管術後患者会の会員からみた患者会の意義について

第 66 回日本公衆衛生学会総会，愛媛県 愛媛県県民文化会館，2007 年 10 月 24 日～26 日

堀口智恵，豊田加奈子，下平美智代，山田亜美，渡邊麻衣子，古井祐二，福井里江

職業性ストレスと精神的健康度、生活習慣との関連性

第 66 回日本公衆衛生学会総会，愛媛県 愛媛県県民文化会館，2007 年 10 月 24 日～26 日

関根綾希子，臺有桂，有本梓，田口敦子，永田智子，村嶋幸代

東京大学大学院修士課程保健師コースでの地域ケアマネジメント実習

第 66 回日本公衆衛生学会総会，愛媛県 愛媛県県民文化会館，2007 年 10 月 24 日～26 日

島村珠枝，田口敦子，村嶋幸代

多剤耐性結核患者の病気の受けとめと入院生活で感じていること

第 66 回日本公衆衛生学会総会，愛媛県 愛媛県県民文化会館，2007 年 10 月 24 日～26 日

臺有桂，樋口キエ子，葛西好美

訪問看護師が学生実習を受け入れる意義

第 66 回日本公衆衛生学会総会，愛媛県 愛媛県県民文化会館，2007 年 10 月 24 日～26 日

田口敦子，錦戸典子，三橋祐子，松坂由香里，麻原きよみ，安齋由貴子，蔭山正子，都筑千景，永田智子，有本梓，村嶋幸代

保健師活動におけるグループ支援技術

第 66 回日本公衆衛生学会総会，愛媛県 愛媛県県民文化会館，2007 年 10 月 24 日～26 日

馬場千恵，酒井優，臺有桂，有本梓，田口敦子，永田智子，村嶋幸代
東京大学大学院修士課程「保健師コース」での地域診断・活動展開実習
第 66 回日本公衆衛生学会総会，愛媛県 愛媛県県民文化会館，2007 年 10 月 24 日～26 日

Arimoto A，Murashima S

Working with multidiscipline group of professionals and local welfare commissioner in case management for preventing child abuse and neglect

American Public Health Association 135th Annual Meeting, Washington D.C., Washington Convention Center, November 3-7, 2007

有本梓，村嶋幸代

行政保健師による児童虐待リスクアセスメント 専門職・住民との協力を要した個別支援事例の分析から

第 27 回日本看護科学学会学術集会，東京都 東京国際フォーラム，2007 年 12 月 7 日～8 日

渡井いずみ，錦戸典子，村嶋幸代

低学年児童を持つ働く親の養育態度と就業状況、職業ストレス、両立葛藤、精神健康度との関連

第 27 回日本看護科学学会学術集会，東京都 東京国際フォーラム，2007 年 12 月 7 日～8 日

渡邊麻衣子，有本梓，村嶋幸代

心臓血管術後患者が退院後の在宅生活の中で抱く思いについて

第 27 回日本看護科学学会学術集会，東京都 東京国際フォーラム，2007 年 12 月 7 日～8 日

後藤桂子，菱沼典子，松谷美和子，田代順子，大久保暢子，佐居由美，中山久子，石本亜希子，有森直子，島田多佳子，瀬戸山陽子，臺有佳

子どもがからだについて学ぶための教材作成の研究過程 CBPR でみた people - centered care

第 27 回日本看護科学学会学術集会，東京都 東京国際フォーラム，2007 年 12 月 7 日～8 日

大久保暢子，松谷美和子，田代順子，菱沼典子，佐居由美，石本亜希子，有森直子，後藤桂子，瀬戸山陽子，印東桂子，島田多佳子，臺有佳

就学前児向けのプログラム「自分のからだを知ろう」に対する評価指標の検討

第 27 回日本看護科学学会学術集会，東京都 東京国際フォーラム，2007 年 12 月 7 日～8 日

Murayama H，Taguchi A，Murashima S

Scale Development of Satisfaction and Burden Scales of Health Promotion Volunteers , and the Relationships between Activity Satisfaction and Burden , and Social Support

11th East Asian Forum on Nursing Science Annual Conference , Taiwan , Kaohsiung Medical University , February 28-29, 2008

(6) 講演等

村嶋幸代 (講演・講師)

佐久広域連合管内保健関係者等研修会
「保健師が保健師であるための活動方法論」
長野県佐久市, 2007年4月19日

村嶋幸代 (講演・講師)

平成19年度滋賀県訪問看護ステーション連絡協議会総会
記念講演「魅力ある訪問看護師が暮らしやすい地域を創る」
滋賀県看護研修センター, 2007年4月28日

村嶋幸代 (講演)

平成19年度訪問看護ステーションの管理者研修会
「地域における訪問看護の可能性」
済生会本部事務局大会議場, 2007年6月15日

村嶋幸代 (講演)

全国訪問看護事業協会通常総会 講演会
地域特性に応じた訪問看護ステーションの機能・役割に関する検討
全社連研修センター, 2007年6月21日

村嶋幸代 (講演)

中部大学看護セミナー
保健師・看護師資格の最新情報～今求められる保健師・看護師に期待すること～
中部大学春日井キャンパス, 2007年6月22日

村嶋幸代 (講演)

第33回神経研夏のセミナー「難病の地域ケアコース」
保健師職能の専門性と地域保健活動
東京都神経科学総合研究所 1階会議室, 2007年6月28日

村嶋幸代 (講演)

上小保健師会通常総会記念講演
保健師らしくあるための保健師活動方法論
長野県上田市「ささや」, 2007年6月28日

島村珠枝 (講演)

平成19年度結核患者服薬支援看護ワークショップ
ロサンゼルスでの結核看護
東京都 (財) 結核予防会結核研究所, 2007年8月31日

村嶋幸代（解説）

全国看護行政担当者説明会

保健師助産師看護師学校養成所指定規則等の改正について

経済産業省別館， 2007年9月7日

島村珠枝（講演）

平成19年度結核研究所保健看護学科研修保健師対策5日間コース

ロサンゼルスでの結核看護

東京都（財）結核予防会結核研究所，2007年9月14日

村嶋幸代（基調講演）

東京大学主催 主要大学説明会 2007

科学を通して、暮らしやすい社会を創造する

金沢， 2007年9月24日

村嶋幸代（シンポジウム）

第66回日本公衆衛生総会 公衆衛生看護のあり方委員会主催フォーラム

保健師教育の臨地実習と卒後教育

愛媛看護研修センター， 2007年10月24日

村嶋幸代（基調講演）

湖南地域の24時間在宅ケアシステムを考える

湖南地域の24時間在宅ケアモデル事業の実践と実施効果と展望

栗東市総合福祉センター， 2007年10月27日

村嶋幸代（講演）

第29回全国地域保健師学術研究会

教育講演 対談「新しい活動を目指した取り組みのために～住民の期待に応える保健師活動～」

大津プリンスホテル， 2007年11月16日

村嶋幸代（講師）

「第13回訪問看護・在宅ケア研究交流集会」研究発表会

訪問看護・在宅ケア研究発表会 講師

日本看護協会ビル， 2007年11月17日

村嶋幸代（基調講演）

全国保健センター連合会 意見交換会

地域包括センターにおける保健師の役割

住友ホール（新宿）， 2007年11月22日

村嶋幸代（講演）

日本看護学校協議会 第2回教育研修会
新カリキュラムにおける臨地実習の考え方-看護基礎教育に何を求めるか-
東京アルカディア市ヶ谷, 2007年12月6日

村嶋幸代（会長講演）

第27回日本看護科学学会学術集会
会長講演「人々の健康と社会をまもる看護の研究」
東京国際フォーラム, 2007年12月7日

村嶋幸代（基調講演）

全国保健センター連合会 意見交換会
地域包括センターにおける保健師の役割
ホテルルビノ京都堀川, 2007年12月14日

村嶋幸代（講演）

福岡県保健師協議会研修会
保健師の基礎教育ならびに保健師の専門性
ホテルレガロ福岡, 2007年12月22日

村嶋幸代（講演・講師）

全国保健師教育機関協議会九州ブロック研修会
これからの保健師活動と基礎教育の方向性
基礎教育で身につけるべき能力と保健所・市町村実習の在り方
九州大学, 2007年12月22日

島村珠枝（講師）

平成19年度結核合同アドヴァンスコース
多剤耐性結核患者の病気の受けとめと入院生活で感じていること
東京都（財）結核予防会結核研究所, 2008年1月29日

村嶋幸代（講演）

平成19年度全国保健師教育機関協議会東北ブロック教員研修会
保健師教育の方向性～基礎教育で身につけるべき能力と臨地実習のありかた～
宮城大学 大会議室, 2008年2月23日

渡井いずみ（講演）

女性労働者の健康管理にいかなる配慮が必要か？ - 男女共同参画の立場から -
第240回日本産業衛生学会関東地方会例会, 東京, 女性と仕事の未来館, 2008年2月23日

村嶋幸代（講評）

平成 19 年度健康たまがわプラン活動報告会
現在の活動状況や来年度以降の事業の方向性
玉川総合支所 4 階 第 6 集会室, 2008 年 3 月 3 日

村嶋幸代（講演・講師）

埼玉県全国保健師長会埼玉支部研修会
これからの保健師活動を考える-保健所再編後 2 年目を経過して-
浦和コミュニティーセンター（浦和 P A R C O 10 階第 11 集会室）, 2008 年 3 月 8 日

田口敦子（講演・講師）

平成 19 年度・生涯学習センターネットワークセミナー講座
高齢者介護を考える～住み慣れた地域で安心して暮らすために～
足立区生涯学習センター研修室, 2008 年 3 月 8 日

村嶋幸代（講演）

地域包括ケア体制と行政保健師の役割についての講義
保健師の専門性を活かした介護予防事業の取り組みについて
福岡市博多区吉塚 県吉塚合同庁舎, 2008 年 3 月 17 日

村山洋史（講演・講師）

地域包括支援センタースキルアップ会議
地域づくり評価モデル事業報告
世田谷区民会館 2 階集会室, 2008 年 3 月 25 日

村嶋幸代（講評）

東部訪問看護事業部研修会事例報告
新人事例報告への講評
日本肢体不自由児協会（センター 3 階）, 2008 年 3 月 27 日

村嶋幸代（講評）

地域包括支援センタースキルアップ会議
～地域づくり評価モデル事業発表会～「地域包括支援センターにおける地域づくり」・地域づくりの視
点について・日常業務との関連について
世田谷区民会館 2 階集会室, 2008 年 3 月 25 日

(7) シンポジウム・セミナー等

関根綾希子 (演者)

平成 19 年度日本看護協会保健師職能集会 シンポジウム

修士課程における地域診断・活動展開実習の紹介～介護予防の地区育成支援モデル事業からみた地域像と将来展望～

愛知県 名古屋市総合体育館, 2007 年 5 月 18 日

村嶋幸代 (シンポジウム座長)

ICN 学術集会シンポジウム

病院から地域へ - 看護職が経営権を持つ訪問看護ステーションによる地域看護活動

パシフィコ横浜 会議センター3F304, 2007 年 5 月 31 日

村嶋幸代 (Total Moderator)

1st Korea-Japan Joint Workshop on Quality Improvement of Nursing Doctoral Program

韓国-日本看護博士課程質向上のためのジョイント・ワークショップ

Extension center, Yokohama City University Yokohama Land Mark Tower 13F, 2007 年 6 月 2 日

村嶋幸代 (シンポジスト)

第 2 回 日本ルーラルナーシング学会学術集会

地域特性に応じた訪問看護活動

沖縄県名桜大学 (沖縄県名護市), 2007 年 6 月 30 日

村嶋幸代 (発表)

国際共同研究事業に係わる発表

訪問看護の必要性を判定するアセスメントシートの共同開発

法曹会館 3 F 富士の間, 2007 年 7 月 18 日

村嶋幸代 (演者・世話役他)

日本地域看護学会 第 10 回学術集会交流集会

「公衆衛生に特化した資格で活動する保健師の価値を考える」

保健師活動の価値 (意義・効果) を示す研究に取り組もう

神奈川県 神奈川県立保健福祉大学, 2007 年 7 月 28 日

有本梓 (演者)

日本地域看護学会 第 10 回学術集会交流集会

「公衆衛生に特化した資格で活動する保健師の価値を考える」

保健師活動の効果を示すシステムティック・レビューとは

神奈川県 神奈川県立保健福祉大学, 2007 年 7 月 28 日

村嶋幸代 (講師)

東京大学オープンキャンパス

東京大学における / 東京大学を通じた女性の活躍

東京大学駒場キャンパス, 2007年8月1日

村嶋幸代 (シンポジスト)

「保健師教育の質保証」シンポジウム

全国保健師教育機関協議会の保健師養成の考え方

東京大学 武田先端知ビル5F, 2007年9月9日

村嶋幸代 (パネリスト)

The 100 Anniversary, School of Nursing, Seoul National University

Barriers to and benefits of engaging in inter-university collaborative research

Excellence in Nursing through Collaboration

Seoul National University, 2007年10月18日

村嶋幸代 (パネリスト)

International Conference to Celebrate the 100th Anniversary of College of Nursing, Seoul National University

Seoul National University, 2007年10月18日~19日

村嶋幸代 (課題提起)

Lecture by Dr. Rita Colwell

Joint session of President's Council and the office for Equal participation

Issues on Promoting Women in Science and Technology in the University of Tokyo

東京大学山上会館, 2007年11月9日

島津明人(座長), 渡井いずみ, 松井富美子, 荒木葉子(シンポジスト)

第23回日本ストレス学会学術総会

シンポジウム「多様化する労働形態とワーク・ライフ・バランス」

東京都 東京医科大学病院臨床講堂, 2007年11月9日~10日

村嶋幸代 (パネリスト)

地域医療研究会 全国大会 2007

分科会「これからの看護のあり方」

かずさアカデミアホール 分科会会場(木更津), 2007年11月25日

永田智子 (シンポジスト)

第27回日本看護科学学会学術集会

ケアの場の移行における連携と調整 退院支援に焦点を当てて

シンポジウム「ひととケアと地域をつなぐ在宅ケアのニュー・デザイン」

東京都 東京国際フォーラム, 2007年12月7日~8日

村嶋幸代 (演者)

日本看護系大学協議会看護学教育評価機関検討委員会シンポジウム
看護学の専門領域に特化した大学評価について

「看護学教育評価機関検討委員会の活動目的・経過説明」「今後の方向性」
京都府 京都市勤業館みやこめッセ, 2008年3月1日
東京都 東京コンファレンスセンター品川, 2008年3月8日

有本梓 (演者)

日本看護系大学協議会看護学教育評価機関検討委員会シンポジウム
看護学の専門領域に特化した大学評価について

「米国認定評価機関 Commision on Collegiate Nursing Education (CCNE) 視察報告」
京都府 京都市勤業館みやこめッセ, 2008年3月1日
東京都 東京コンファレンスセンター品川, 2008年3月8日

(8) その他

村嶋幸代

「高齢者看護を考える」地域全体を看護したい - 高齢社会見据えた対応を -
東大新報, 第997号, p3, 2007年2月5日

村嶋幸代

保健師看護師統合カリキュラムを次の一步につなげる方策
週刊 医学界新聞, 第2725号, p2-3, 2007年3月26日

渡井いずみ (講師)

ワーク・ファミリー・コンフリクト研究の動向 -日本人を対象とした研究と職場環境を中心に-
東京大学精神保健学分野 研究会, 2007年5月29日

渡井いずみ

両親の就業が養育態度に及ぼす影響について - 低学年児童に焦点をあてて -
2006年度 明治安田こころの健康財団 研究助成成果報告会
東京, 明治安田生命高田馬場ビル, 2007年7月28日

村嶋幸代

インタビュー「東京大学大学院修士課程 保健師コース」について
月刊地域保健, 2007年8月号, p1~5

村嶋幸代

インタビュー「来れ 理系ガール！」 - 女性研究者支援の取り組みについて
日本経済新聞 夕刊, 2007年7月23日

小山朝子, 永田智子

即実践！アイデア介護術 在宅復帰への支援
ホームヘルプ, 10月号 . 36-43, 2007

村嶋幸代

新春座談会「地域包括支援センターの目指すべき方向性」
シルバー産業新聞, 2008年1月10日

有本梓

近況報告：私の研究「専門職の語りから専門性を見出す - 地域看護学の立場から」
M-GTA 研究会 News letter no.25, p2, 2008年1月31日

3. 研究活動

(1) 抄読会 (毎週火曜日) 前期 2007.4/10 ~ 7/10, 後期 9/18 ~ 2007.3/18

- 4月10日 抄読会オリエンテーション
- 4月17日 大田えりか(文献紹介): Osrin D, Vaidya A, Shrestha Y, Baniya RB, Manandhar DS, Adhikari R, Filteau S, Tomkins A, Costello AM. Effects of antenatal multiple micronutrient supplementation on birthweight and gestational duration in Nepal: double-blind, randomised controlled trial. *Lancet*, 365: 955-962, 2005. (クリティーク 有本)
鈴木樹美: 修士論文経過報告
- 4月24日 横山由美(文献紹介): Skotko B. Mothers of Children With Down Syndrome Reflect on Their Postnatal Support. *Pediatrics*, 115(1): 64-77, 2005. (クリティーク 渡辺)
戸村ひかり: 修士論文経過報告
- 5月8日 中山香映(文献紹介): Albers LL, Sedler KD, Bedrick EJ, Teaf D, Peralta P. Midwifery Care Measures in the Second Stage of Labor and Reduction of Genital Tract Trauma at Birth: A Randomized Trial. *Journal of Midwifery & Women's Health*, 50: 365-372, 2005. (クリティーク 春名)
深町美那穂: 修士論文経過報告
- 5月15日 村山洋史(文献紹介): Winkleby M, Cubbin C, Ahn D. Effect of Cross-Level Interaction Between Individual and Neighborhood Socioeconomic Status on Adult Mortality Rates. *American Journal of Public Health*, 96(12): 2145-2153, 2006. (クリティーク 村山(陵))
渡邊麻衣子: 修士論文経過報告
- 5月22日 新井志穂(文献紹介): Takeuchi DT, Zane N, Hong S, Chae DH, Gong F, Gee GC, Walton E, Sue S, Alegría M. Immigration-Related Factors and Mental Disorders Among Asian Americans. *American Journal of Public Health*, 97(1): 84-90, 2007. (クリティーク 横山)
野尻直美: 修士論文経過報告
- 5月29日 岡本美香子(文献紹介): Homer CS, Davis GK, Cooke M, Barclay LM. Women's experiences of continuity of midwifery care in a randomised controlled trial in Australia. *Midwifery*, 18(2): 102-112, 2002. (クリティーク 大田)
関根綾希子: 修士論文経過報告
- 6月5日 成瀬昂(文献紹介): Stephens MA, Franks MM, Atienza AA. Where Two Roles Intersect: Spillover Between Parent Care and Employment. *Psychology and Aging*, 12(1): 30-37, 1997. (クリティーク 田口)
大田えりか: 博士論文経過報告

- 6月12日 馬場千恵 (文献紹介): Silver EJ, Heneghan AM, Bauman LJ, Stein RE. The Relationship of Depressive Symptoms to Parenting Competence and Social Support in Inner-City Mothers of Young Children. *Maternal and Child Health Journal*, 10(1): 105-112, 2006. (クリティーク 村山(洋))
松永篤志: 修士論文経過報告
- 6月19日 島村珠枝 (文献紹介): Duyan V, Kurt B, Aktas Z, Duyan GC, Kulkul DO. Relationship between quality of life and characteristics of patients hospitalised with tuberculosis. *International Journal of Tuberculosis & Lung Disease*, 9(12): 1361-1366, 2005. (クリティーク 永田)
村山陵子 (母性 topic): 助産師外来に期待すること-大学病院における「助産師による外来」に焦点をあてて-
- 6月26日 酒井優 (文献紹介): Cohen GD, Perlstein S, Chapline J, Kelly J, Firth KM, Simmens S. The Impact of Professionally Conducted Cultural Programs on the Physical Health, Mental Health, and Social Functioning of Older Adults. *The Gerontologist*, 46(6): 726-734, 2006. (クリティーク 村嶋)
島村珠枝 (地域 topic): ロサンゼルスでの結核看護 研修報告
- 7月3日 西岡笑子 (文献紹介): Chen YC, Wu Y, Chie W. Effects of work-related factors on the breastfeeding behavior of working mothers in a Taiwanese semiconductor manufacturer: a cross-sectional survey. *BMC Public Health*, 160, 2006. (クリティーク 中山(香))
村山洋史: 博士論文経過報告
- 7月10日 白石三恵 (文献紹介): Siega-Riz AM, Promislow JH, Savitz DA, Thorp JM, McDonald T. Vitamin C intake and the risk of preterm delivery. *American Journal of Obstetrics and Gynecology*, 189: 519-525, 2003. (クリティーク 臺)
日本地域看護学会予行
- 9月18日 島村珠枝 (文献紹介): Hansel NN, Wu AW, Chang B, Diette GB. Quality of life in tuberculosis: Patient and provider perspectives. *Quality of Life Research*, 13: 639-652, 2004. (クリティーク 村山(洋))
野尻直美: 修士論文経過報告
戸村ひかり: 修士論文経過報告
- 9月25日 成瀬昂 (文献紹介): Mohseni M, Lindstrom M. Social capital, trust in the health-care system and self-rated health: The role of access to health care in a population-based study. *Social Science & Medicine*, 64: 1373-1383, 2007. (クリティーク 中山(香))
松永篤志: 修士論文経過報告
渡邊麻衣子: 修士論文経過報告

- 10月2日 白石三恵(文献紹介): Gupta P, Narang M, Banerjee BD, Basu S. Oxidative stress in term small for gestational age neonates born to undernourished mothers: a case control study. *BMC Pediatrics*, 14, 2004. (クリティーク 大田)
鈴木樹美: 修士論文経過報告
関根綾希子: 修士論文経過報告
- 10月9日 新井志穂(文献紹介): Rosmond R, Nilsson A, Björntorp P. Psychiatric ill health and distribution of body fat mass among female immigrants in Sweden. *Public Health*, 114: 45-51, 2000. (クリティーク 馬場)
酒井優(文献紹介): Abrams RC, Lachs M, McAvay G, Keohane DJ, Bruce ML. Predictors of Self-Neglect in Community-Dwelling Elders. *American Journal of Psychiatry*, 159(10): 1724-1730, 2002. (クリティーク 有本)
- 10月16日 横山由美(文献紹介): Clausson E, Petersson K, Berg A. School nurses' view of schoolchildren's health and their attitudes to document it in the school health record - a pilot study. *Scandinavian Journal of Caring Sciences*, 17: 392-398, 2003. (クリティーク 西岡)
村島幸代、永田智子、田口敦子(地域 topic): 訪問看護ステーションにおけるタイムスタディ調査について
- 10月23日 大田えりか(文献紹介): Takimoto H, Mito N, Umegaki K, Ishiwaki A, Kusama K, Abe S, Yamawaki M, Fukuoka H, Ohta C, Yoshiike N. Relationship between dietary folate intakes, maternal plasma total homocysteine and B-vitamins during pregnancy and fetal growth in Japan. *European Journal of Nutrition*, 46(5): 300-306, 2006. (クリティーク 島村)
馬場千恵(文献紹介): Johnston BD, Huebner CE, Anderson ML, Tyll LT, Thompson RS. Healthy Steps in an Integrated Delivery System; Child and Parent Outcomes at 30 Months. *Arch Pediatr Adolesc Med*, 169: 793-800, 2006. (クリティーク 白石)
- 10月30日 岡本美香子(文献紹介): Dolan LM, Hosker GL, Mallett VT, Allen RE, Smith AR. Stress incontinence and pelvic floor neurophysiology 15 years after the first delivery. *An International Journal of Obstetrics and Gynaecology*, 110: 1107-1114, 2003. (クリティーク 酒井)
新井志穂: 修士論文経過報告
西岡笑子: 修士論文経過報告
- 11月6日 村山洋史(文献紹介): Molarius A, Berglund K, Eriksson C, Lambe M, Nordström E, Eriksson HG, Feldman I. Socioeconomic conditions, lifestyle factors, and self-rated health among men and women in Sweden. *European Journal of Public Health*, 17(2): 125-133, 2007. (クリティーク 成瀬)
岡本美香子: 修士論文経過報告
馬場千恵: 修士論文経過報告

- 11月13日 西岡笑子(文献紹介): Su L, Chong Y, Chan Y, Chan Y, Fok D, Tun K, Ng F, Rauff M. Antenatal education and postnatal support strategies for improving rates of exclusive breast feeding: randomised controlled trial. *British Medical Journal*, 335(7620): 596-602, 2007. (クリティーク 新井)
島村珠枝: 修士論文経過報告
酒井優: 修士論文経過報告
- 11月20日 春名めぐみ(文献紹介): Biró MA, Waldenström U, Brown S, Pannifex JH. Satisfaction with Team Midwifery Care for Low- High-Risk women: A Randomized Controlled Trial. *Birth*, 30(1): 1-10, 2003. (クリティーク 岡本)
白石三恵: 修士論文経過報告
成瀬昂: 修士論文経過報告
- 11月27日 村山洋史: 博士論文経過報告
中山香映: 博士論文経過報告
渡邊麻衣子: 修士論文経過報告
関根綾希子: 修士論文経過報告
- 12月4日 大田えりか: 博士論文経過報告
横山由美: 博士論文経過報告
鈴木樹美: 修士論文経過報告
野尻直美: 修士論文経過報告
- 12月11日 麦田真秀人: 卒業論文経過報告
桑原雄樹: 卒業論文経過報告
- 12月18日 中山香映(文献紹介): Borquez HA, Wiegers TA. A comparison of labour and birth experiences of women delivering in a birthing centre and at home in the Netherlands. *Midwifery*, 22: 339-347, 2006. (クリティーク 横山)
松永篤志: 修士論文経過報告
戸村ひかり: 修士論文経過報告
- 1月8日 修士論文サポート
1月22日 修士論文発表予行
1月29日 修士論文発表予行
- 2月5日 岡本美香子: 修士論文経過報告
成瀬昂: 修士論文経過報告
- 2月19日 西岡笑子: 修士論文経過報告
白石三恵: 修士論文経過報告
- 3月4日 新井志穂: 修士論文経過報告
島村珠枝: 修士論文経過報告
- 3月18日 馬場千恵: 修士論文経過報告

(2) 研究会

	日程	講師およびテーマ (敬称略)
第141回	2007年 4月20日	有本 梓(東京大学大学院 医学系研究科) 「複数の専門職・住民と協力して行う行政保健師の個別支援技術 - 児童虐待予防事例に焦点をあてて - 」
第142回	5月25日	川上 憲人(東京大学大学院 医学系研究科) 「Population に対する介入研究の成果と手法 - 職場のメンタルヘルスと地域の精神保健疫学を例にとって - 」
第143回	6月21日	臺 有桂(東京大学大学院 医学系研究科) 「子供たちを育む地域保健活動実践を通して」
第144回	7月13日	竹中 晃二(早稲田大学 人間科学学術院) 「健康行動変容：始める、続ける、逆戻りを予防する」
第145回	9月21日	Kathy Magilvy (University of Colorado at Denver and Health Sciences Center , School of Nursing) “The Experience of the Sandwich Generation: A Qualitative Descriptive Study” 「サンドイッチ世代-フルタイムの仕事に加え介護と育児を行う家族- に関する質的記述的研究」
第146回	10月12日	勝又 浜子(厚生労働省 健康局総務課 保健指導室) 「最新の地域保健の動向と保健師活動」
第147回	11月22日	福田 敬(東京大学大学院 医学系研究科) 「医療経済と診断報酬」
第148回	12月20日	武藤 正樹(国際医療福祉大学三田病院副院長・国際医療福祉総合研究所長・ 国際医療福祉大学大学院教授・(株)医療福祉経営審査機構 CEO) 「地域医療計画と連携パス」
第149回	2008年 2月15日	田代 順子(聖路加看護大学) 「研究課題の選択と主要概念の分析：研究の概念枠組みの構築」
第150回	3月21日	内藤 智雄(岐阜大学医学部附属病院 医療安全管理室) 「訪問看護ステーションにおける管理体制の効率化に関する研究 ～ IT活用による記録・帳票類の管理方法の検討～ 」

(3) 研究プロジェクト

村嶋幸代，内藤智雄，後閑容子，山田雅子，田上豊，福田敬，竹内美知枝，石原多佳子，永田智子，田口敦子，有本梓，臺有桂

複数の訪問看護ステーションによる地域単位の 24 時間訪問介護・看護の効果的・効率的な実施方法の開発研究

平成 19 年度厚生労働省労働科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業

村嶋幸代，雨師みよ子，井ノ口佳子，小林澄子，佐々木静枝，山田京子，福田敬，永田智子，田口敦子，桑原雄樹

訪問看護事業の報酬体系のあり方に関する検討

平成 19 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業 訪問看護事業の報酬体系・提供体制のあり方に関する調査研究事業

松下正明，天本宏，上野桂子，織田正道，神津仁，迫田朋子，佐藤美穂子，鷺見よしみ，取手涼子，井伊久美子，武藤正樹，村上紀美子，村嶋幸代，宇都宮宏子，設楽美佐子，千葉由美，永田智子，乗越千枝，山本則子，加藤晴子，熊谷富子，関真美子，宗川千恵子，館内珠実，立松末子，中村真美

退院準備・在宅ケア移行支援システム（退院支援システム）のあり方に関する研究

平成 19 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業 未来志向プロジェクト

菅田勝也，数間恵子，村嶋幸代，真田弘美，田高悦子，佐々木美奈子，武村雪絵，伊藤直美，田口敦子，永田智子，北川敦子，吉岡京子，有本梓

看護の人材資産形成のためのコンピテンシーとキャリア発達過程の体系化

平成 17-20 年度科学研究費補助金基盤研究（A）（2）

永田智子，鷺見尚己

利用者の視点に基づく医療連携・退院支援のアウトカム指標の開発 ケアの場の移行に伴って発生する患者・家族の療養生活上のニーズに焦点をあてて

平成 19 年度厚生労働科学研究費補助金医療安全・医療技術評価総合研究事業（H9-医療-若手-001）

田口敦子

住民組織ネットワークを測定する尺度の妥当性検証

平成 19-20 年度科学研究費補助金若手研究（B）

有本梓

多職種チームによる児童虐待予防 - 個別支援プロセス評価尺度の開発と有用性の検証

平成 19-20 年度科学研究費補助金若手研究（スタートアップ）

小林小百合，村嶋幸代，永田智子

認知症高齢者グループホームにおけるケアの質に関する研究

東京大学ジェロントロジー寄附研究部門モジュール研究（2006 年 10 月～2007 年 6 月）

村山洋史

地域包括支援センターとインフォーマル組織とのネットワーク構築とその効果に関する研究
第17回(平成19年度)公益信託山路ふみ子専門看護教育研究助成(研究代表者:村山洋史)

関根綾希子, 村山洋史, 田口敦子, 山内孝一郎, 村嶋幸代

農村部の働き盛り男性の生活習慣に関連する要因 - 既婚・独身の差異に注目して -
平成19年度(財)太陽生命ひまわり厚生財団 研究助成(研究代表者:関根綾希子)

関根綾希子, 村山洋史, 田口敦子, 村嶋幸代

農村部の働き盛り独身男性の生活習慣と保健指導への示唆 - 効果的な保健指導の取り組みに向けて -
平成19年度(第54回)(財)千代田健康開発事業団 社会厚生事業助成金制度『医学研究助成』(研究代表者:関根綾希子)

(4) 教室内勉強会

抄読会補習勉強会 (4月17日~5月22日 毎週火曜日 30分程度) 対象:M1

抄読会で読んだ文献について疑問を出し合い、ポイント、研究用語・統計用語を学んだ。

- 4月17日 勉強会の進め方、論文を読む際のポイント、参考書紹介
- 4月24日 文献: Skotko B. Mothers of Children With Down Syndrome Reflect on Their Postnatal Support. *Pediatrics*, 115(1): 64-77, 2005.
- 5月8日 文献: Albers LL, Sedler KD, Bedrick EJ, Teaf D, Peralta P. Midwifery Care Measures in the Second Stage of Labor and Reduction of Genital Tract Trauma at Birth: A Randomized Trial. *Journal of Midwifery & Women's Health*, 50: 365-372, 2005.
- 5月15日 文献: Winkleby M, Cubbin C, Ahn D. Effect of Cross-Level Interaction Between Individual and Neighborhood Socioeconomic Status on Adult Mortality Rates. *American Journal of Public Health*, 96(12): 2145-2153, 2006.
- 5月22日 文献: Takeuchi DT, Zane N, Hong S, Chae DH, Gong F, Gee GC, Walton E, Sue S, Alegría M. Immigration-Related Factors and Mental Disorders Among Asian Americans. *American Journal of Public Health*, 97(1): 84-90, 2007.

ネットワーク勉強会

日程	テーマ	担当
5月16日(水)	Social Support 研究の動向	村山
6月19日(火)	保健医療福祉のネットワーク	有本
7月31日(火)	母子領域におけるネットワーク 医療・保健・福祉分野で考える	成瀬・馬場

4. 教育活動

(1) 学部講義

1) 地域看護学 3年後期 ・ (4単位)

担当： 村嶋幸代 / 永田智子 / 田口敦子 / 有本梓 / 臺有桂

期間： 平成 19 年 10 月 25 日 ~ 平成 19 年 12 月 6 日 木曜日 13:00 ~ 16:10
 平成 19 年 12 月 12 日 ~ 平成 20 年 2 月 6 日 水曜日 9:00 ~ 12:10

日程	テーマ	担当
10月25日(木)	休講(日本公衆衛生学会のため)	
11月1日(木)	地域看護学の概念、対象と機能、動向	村嶋
11月8日(木)	感染症と危機管理	河西
11月15日(木)	母子保健活動論	有本・村嶋
11月22日(木)	地域看護の展開事例	小林
11月29日(木)	地域アセスメント	村嶋・永田・田口
12月6日(木)	地域アセスメント演習1 (世田谷区玉川地区)	村嶋・永田・有本・ 臺・田口
12月12日(水)	地域アセスメント演習2 (世田谷区玉川地区)	村嶋・永田・有本・ 臺・田口
12月19日(水)	成人保健活動論	錦戸
2008年		永守・萩原・
1月9日(水)	地域アセスメント発表会	村嶋・永田・ 有本・臺・田口
1月23日(水)	在宅看護論1	角田
1月30日(水)	在宅看護論2	角田
2月6日(水)	在宅看護論3 / 地域看護学の展望	村嶋
1月16日(水)	は基礎看護学 と振替	

講師	河西あかね	東京都福祉保健局	多摩府中保健所	保健対策課	感染症対策係
	小林政子	世田谷区世田谷保健所	健康推進課	係長	
	錦戸典子	東海大学健康科学部	看護学科	教授	
	角田直枝	訪問看護振興財団	認定看護師教育課程	訪問看護学科	主任教員
	永守めぐみ	世田谷区玉川総合支所	保健師		
	萩原美紗子	世田谷区玉川総合支所	保健師		

2) 在宅看護論 4年前期 (2単位)

担当： 村嶋幸代 / 永田智子

期間： 平成19年4月11日～平成19年5月16日 水曜日 13:00～12:10

*4月16日(月)にも講義あり

日程	講義題目	担当
4月11日(水)	介護保険制度 / ケアマネジメント	村嶋
4月16日(月)	ケアマネジメント(演習)	永田・臺
4月18日(水)	在宅ケアシステム・介護予防	村嶋
4月25日(水)	地域から病院へ - 退院支援	柳澤・永田
5月2日(水)	地域の危機管理	村嶋
5月9日(水)	重症心身障害児の在宅看護	東部訪問看護事業所
5月16日(水)	難病患者への地域看護活動	小西

講師 柳澤 愛子 東京大学医学部附属病院地域医療連携部

小西かおる 昭和大学保健医療学部看護学科地域・在宅看護学

東京都東部訪問看護事業所

(在宅の重症心身障害児(者)対策の一環として、対象者の健康の保持と安定した家庭療育を支援するために、訪問看護事業を実施)

3) 保健指導論 4年前期 (2単位)

担当： 村嶋幸代 / 永田智子 / 田口敦子 / 有本梓 / 臺有桂

期間： 平成19年4月12日～平成19年5月17日 13:00～16:10

4月23日(月)、5月7日(月)は9:00～12:10

5月17日(木)は14:40～17:50

日程	講義題目	担当
4月12日(木)	保健指導概論	村嶋
4月19日(木)	保健指導の方法：地区組織活動・グループ支援 集団指導の立案(演習)	臺・田口・村嶋
4月23日(月)	保健指導の方法：個別指導	松田
4月26日(木)	保健指導の実際：家庭訪問 健康診査	上野
5月7日(月)	保健指導の実際：個別指導	松田
5月10日(木)	保健指導の実際：家庭訪問 健康診査	上野
5月17日(木)	保健指導の実際：集団指導の実施(演習)	村嶋・永田・臺 有本・田口

講師 上野昌江 大阪府立看護大学 地域看護学 教授

松田一美 (財)社会保険健康事業財団 保健部指導課 次長

- 4) 看護学の基礎と展開（総合科学：人間・環境一般）
 対象：駒場学生
 平成 19 年 5 月 31 日：病院という資源を効果的に使うために - 早期退院に向けた取り組み(永田)
 平成 19 年 7 月 12 日：暮らしやすい地域を創るケア（村嶋）
- 5) 健康科学・看護学概論
 対象：健康科学・看護学科 学生
 期日：平成 19 年 12 月 18 日
 内容：地域看護学が目指すもの（村嶋）

（2）学部実習

[4年生]

期間：平成 19 年 7 月 9 日（月）～7 月 20 日（金）

実習施設

品川区保健センター（2 名）

世田谷区砧総合支所（2 名）

（3）大学院特論

1) 地域看護学特論

担当：村嶋幸代 / 永田智子 / 吉田亨（群馬大学医学部保健学科）

日程：平成 19 年 4 月～7 月 火曜日 13:00～16:00 金曜日 13:30～16:30

内容：地域看護学の理論・実践・研究について修士レベルの教科書を用いながら学ぶとともに、地域看護活動の方法論の一つである地域組織活動の理論と応用を学ぶ。

主なテキスト：

Demetrius James Porche. Public and Community Health Nursing Practice, A Population-Based Approach, Sage Publications, 2004

4 月 24 日（火）13:30～14:30	オリエンテーション、打ち合わせ	（村嶋）
5 月 15 日（火）13:00～16:00	文献輪読・討議	（村嶋）
25 日（金）13:30～16:30	地域における組織活動論	（吉田）
6 月 8 日（金）13:30～16:30	地域における組織活動論	（吉田）
12 日（火）13:00～16:00	文献輪読・討議	（村嶋）
22 日（金）13:30～16:30	地域における組織活動論	（吉田）
7 月 3 日（火）13:00～16:00	文献輪読・討議	（村嶋）
17 日（火）13:00～16:00	発表・討議	（村嶋）

2) 行政看護学特論

担当：村嶋幸代 / 有本梓 / 田口敦子

日程：平成 19 年 4 月～7 月 火曜日 13:30～16:30

内容：行政保健師活動に活用可能なモデルや諸概念を学ぶと共に、地域看護の上級実践に必要な、地域のアセスメント、問題の発見、優先順位の決定、対策立案、実施、評価を、修士レベルの教科書を使いながら学ぶ。

主なテキスト：

Demetrius James Porche

Public and Community Health Nursing Practice, A Population-Based Approach, Sage Publications, 2004

4 月 24 日 (火) 13:30～14:30	オリエンテーション、打ち合わせ	(村嶋)
5 月 8 日 (火) 13:00～16:00	文献輪読・討議	(村嶋)
22 日 (火) 13:00～16:00	文献輪読・討議	(村嶋)
6 月 5 日 (火) 13:00～16:00	文献輪読・討議	(村嶋)
12 日 (火) 13:00～16:00	文献輪読・討議	(村嶋)
26 日 (火) 13:00～16:00	文献輪読・討議	(村嶋)
7 月 10 日 (火) 13:00～16:00	発表・討議	(村嶋)

3) 地域看護学特論

担当：村嶋幸代 / 永田智子

田上豊 (三菱総合研究所 ヒューマン・ケア研究グループ主席研究員)

麻原きよみ (聖路加看護大学 地域看護学教授)

勝又浜子 (厚生労働省 健康局総務課 保健指導室)

日程：原則火曜日

目的：地域看護学に関する研究の現状と課題について、特に在宅ケアを中心として学ぶ。
また、地域看護学研究の方法論についても学ぶ。

主なテキスト：

Demetrius James Porche

Public and Community Health Nursing Practice, A Population-Based Approach, Sage Publications, 2004

10 月 2 日 (火) 13:30～14:30	オリエンテーション、打ち合わせ	(村嶋)
9 日 (火) 13:30～16:30	対人サービスの評価	(田上)
12 日 (金) 18:00～20:00	最新の地域保健の動向と保健師活動	(勝又)
23 日 (火) 13:30～16:30	在宅ケアの社会経済的効果	(田上)
30 日 (火) 13:30～16:30	質的研究の方法	(麻原)
11 月 6 日 (火) 13:30～16:30	地域ケアの評価	(田上)
16 日 (金) 13:30～16:30	地域看護実践における倫理に関する研究	(麻原)
27 日 (火) 13:30～16:30	文献抄読・討議	(永田)

4) 行政看護学特論

担当：村嶋幸代 / 有本梓 / 田口敦子

森田朗（東京大学大学院法学政治学研究科 教授）

堀井とよみ（滋賀県立大学 人間看護学部人間看護学科 教授）

日程：原則火曜日

内容：国や自治体の政策形成のしくみ、自治体の政策立案や制度の運用・評価方法について学び、保健師の施策化への関わり方を理解する。また、研究者として施策化にどのように関わるることができるかを考える。

主なテキスト：「改訂版 現代の行政」森田朗 / 放送大学教育振興会（2000）

この他に、参考文献を配布

10月2日（火）13:30～14:30	オリエンテーション、打ち合わせ	（村嶋）
11月12日（月）13:30～16:30	行政学概論	（森田）
20日（火）13:30～16:30	看護研究と施策化	（村嶋）
12月4日（火）13:30～16:30	保健師活動と施策化	（堀井）
11日（火）13:30～16:30	文献論読・討議	（村嶋）
18日（火）13:30～16:30	文献論読・討議	（村嶋）

（４）大学院実習

[修士1年：保健師コース]

1) 継続家庭訪問実習

期間：2006年7月3日～

実習施設：東京都在宅重症心身障害児訪問看護事業 東部訪問看護事業部(2名)

2) 地域診断・活動展開実習

期間：2007年9月3日～9月28日

実習施設：福島県南会津郡南会津町 伊南総合支所 保健センター(1名)

実習施設：足立区 千住保健総合福祉センター (1名)

3) 地域ケアマネジメント実習

期間：2007年年11月19日～11月30日

実習施設：福島県 南会津保健所 (1名)

期間：2007年11月5日～11月22日

実習施設：埼玉県 所沢保健所 (1名)

(5) 卒業論文

栗原雄樹 (指導教員: 永田智子)

退院前及び在宅療養開始時の訪問看護ステーションにおける業務に関する研究

麦田真秀人 (指導教員: 村嶋幸代, 田口敦子)

乳幼児健診対象の児を持つ夫婦の生活習慣に関する研究

(6) 修士論文

戸村ひかり (指導教員: 村嶋幸代)

退院支援看護師の専門技術の明確化

- 医療ニーズの高いケースの自宅への退院支援に焦点をあてて -

野尻直美 (指導教員: 村嶋幸代)

要介護認定高齢者における介護費と医療費の給付実態と療養病床再編成時の課題

- 北海道 A 町の事例から -

松永篤志 (指導教員: 村嶋幸代)

初期成人期にある日本人ゲイ男性の同性愛アイデンティティの形成過程についての質的研究

渡邊麻衣子 (指導教員: 村嶋幸代, 有本梓)

心臓血管術後の患者会会員のセルフケア能力とソーシャルサポートの関連

鈴木樹美 (指導教員: 村嶋幸代)

内科病棟看護師への退院支援教育プログラムの作成とその効果

関根綾希子 (指導教員: 村嶋幸代)

農山村地域の中年期男性の世帯構成・婚姻状況・食事支度者に着目した食生活の実態

5. 学内での活動

(1) 委員会活動

村嶋幸代

医学系研究科健康科学看護学専攻 専攻長
東京大学医学部附属病院看護体制委員会 委員
東京大学 男女共同参画室 室長

平成 15 年 4 月～
平成 18 年 5 月～
平成 19 年 6 月～

永田智子

医学部健康科学・看護学科 教育委員

平成 19 年 4 月～

有本梓

医学部健康科学・看護学科 看護系をアピール
するワーキンググループ
医学部健康科学・看護学科 進学生増をはかる
ワーキンググループ

平成 19 年 12 月～
平成 20 年 1 月～

(2) その他

村山洋史

リサーチ・アシスタント (RA) 平成 19 年 4 月～平成 20 年 3 月

(3) 教室内での役割分担

抄読会係	村山洋史, 新井志穂, 酒井優, 成瀬昂
親睦会係	村山洋史, 新井志穂
研究会係	横山由美, 戸村ひかり, 渡邊麻衣子, 島村珠枝, 馬場千恵
PC 係	村山洋史, 酒井優, 成瀬昂

6. 学会における活動

村嶋幸代

日本地域看護学会	
評議員	平成 12 年 6 月 ~
理事	平成 12 年 6 月 ~
研究活動推進委員会 委員長	平成 18 年 9 月 ~
日本公衆衛生学会	
評議員	平成 8 年 7 月 ~
理事	平成 14 年 9 月 ~
公衆衛生看護のあり方委員会 委員長	平成 17 年 9 月 ~
日本看護科学学会	
第 27 回学術集会会長	平成 18 年 12 月 ~ 平成 19 年 12 月
理事	平成 19 年 12 月 8 日 ~
日本民族衛生学会	
評議員	平成 4 年 10 月 ~
日本老年医学会	
学術評議員	平成 15 年 4 月 ~
EAFONS (The East Asia Forum in Nursing Scholar)	
Board Member	2007 年 4 月 ~
Public Health Nursing (Journal)	
Reviewer	平成 12 年 6 月 ~

永田智子

第 27 回日本看護科学学会学術集会企画委員 平成 18 年 1 月 ~

田口敦子

第 27 回日本看護科学学会学術集会企画委員 平成 18 年 1 月 ~

日本地域看護学会

研究活動推進委員会 平成 18 年 4 月 ~

有本梓

第 27 回日本看護科学学会学術集会企画委員 平成 19 年 4 月 ~

日本地域看護学会

研究活動推進委員会 平成 19 年 4 月 ~

臺有桂

第 27 回日本看護科学学会学術集会企画委員 平成 19 年 4 月 ~

7. 社会的活動

村嶋幸代

厚生省医療関係者審議会専門委員（保健師助産師看護師部会員）

保健師国家試験 KV 委員 平成 17 年 11 月～

日本看護系大学協議会

幹事 平成 17 年 4 月～

看護学評価機関検討委員会 委員長 平成 17 年 4 月～

国際活動推進委員会 委員長 平成 19 年 5 月～

高等教育行政対策委員会 委員 平成 17 年 6 月～

全国保健師教育機関協議会

会長 平成 18 年 4 月～

日本学術振興会

特別研究員等審査会専門委員 平成 17 年 8 月～

国際事業委員会書面審査員 平成 17 年 8 月～

東京都介護認定平準化推進委員会

委員 平成 17 年度

財団法人中山科学振興財団

評議員 平成 16 年度～

財団法人医療科学研究所研究助成審査委員

評議員 平成 9 年～

平成 15 年 6 月～

財団法人日本訪問看護振興財団

研究助成金審査委員長 平成 12 年度～

永田智子

文京区介護保険認定審査会委員 平成 17 年 4 月～

日本看護系大学協議会

看護学教育評価機関検討委員会 協力者 平成 17 年 4 月～

村嶋幸代・田口敦子

健康たまがわプラン 策定と評価 助言 平成 18 年 4 月～

有本梓

日本看護系大学協議会

看護学教育評価機関検討委員会 協力者 平成 19 年 4 月～

国際交流推進委員会 協力者 平成 19 年 4 月～

臺有桂

日本看護系大学協議会

国際交流推進委員会 協力者 平成 19 年 4 月～

全国保健師教育機関協議会

指名理事 平成 19 年 4 月～

小林小百合

平成 19 年度横浜市認知症介護実践研修（実践者・実践リーダー研修）講師

平成 19 年度横浜市認知症対応型サービス事業管理者研修 講師

平成 19 年度横浜市認知症対応型サービス事業開設者研修 講師

8. 教室日誌

2007年	4月1日	有本梓 助教, 臺有桂 特任助教 採用
	4月10日	ウェルカムランチ (研究室)
	4月20日	新年度顔合わせ会 (東大構内「学生会館分館」)
	9月21日	Professor Kathy Magilvy (コロラド大学 教授) 来日 ウェルカムパーティー (東大構内「Capo PELLICANO」)
	10月	遠藤裕子 事務員 採用
	11月	土肥原洋美 事務員 採用
	12月20日	忘年会および JANS27 慰労会 (東大構内「Capo PELLICANO」)
	12月	斉藤真美 事務員 退職
2008年	1月	松井優子 事務員 採用
	3月13日	送別会 (本郷「金魚坂」)
	3月31日	臺有桂 特任助教 退職

9. 教室員名簿 (2007 年度)

教授	村嶋幸代		
非常勤講師	田上豊 上野昌江	吉田亨 錦戸典子	麻原きよみ 角田直枝
講師	永田智子		
助教	田口敦子	有本梓	
特任助教	臺有桂		
事務員	堀美奈子 片田道子 土肥原洋美 (2007 年 11 月 ~)	山口千鶴子 遠藤裕子 (2007 年 10 月 ~)	斉藤真美 (2007 年 12 月まで) 松井優子 (2008 年 1 月 ~)
大学院生 (博士課程)	小林小百合 横山由美	渡井いずみ 武内奈緒子(休学中)	村山洋史
大学院生 (修士課程)	戸村ひかり 松永篤志 関根綾希子 成瀬昂 石塚裕美子・木村直子・廣田真由美 (休学中)	野尻直美 渡邊麻衣子 新井志穂 馬場千恵	深町美那穂 鈴木樹美 島村珠枝 酒井優
卒論生	桑原雄樹	麦田真秀人	渡邊るい
研究生	高橋美砂子		
客員研究員	上原ます子 小澤乃智子 斉藤恵美子 玉木健太郎 中山かおり 本田亜紀子	岡田麻里 小西かおる 島田陽子 田畑まりえ 服部真理子 吉岡京子	尾形由起子 蔭山正子 鷲見尚己 中川泉 福井郁子
教室研究生	伊藤麻子 川崎千恵	白戸舞 長広佳恵	當山紀子 関口和子